

菊友会報

第113号

2024年(令和6年)7月1日

発行＝菊友会

編集＝広報委員会

HP

<事務局> 東京都千代田区九段北 2-2-1

千代田区立九段中等教育学校内(〒102-0073)

TEL (03)3263-2448 / FAX (03)3263-1033

Web Site -- <https://www.kikuyukai.com/> Mail Address -- info@kikuyukai.com

母校創立100周年から新しい地平へ 会長・理事長交代 新体制スタート 第25代会長は猪俣弘司氏(高24)、第10代理事長は篠原慎一氏(高27) 原田前会長、伊藤前理事長、お世話になりました。心から感謝申し上げます。

菊友会会長就任にあたって

会長 猪俣弘司

母校が創立100周年を迎えた節目の年に、菊友会の会長をお引き受けすることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

原田前会長をはじめこれまでこの歴史ある菊友会の会長を務められた方々の多くは、同窓会の実質的活動を担ってきた理事や理事長を経験された方々です。2年ほど前に同期の伊藤ユリア前理事長から連絡があり次期会長に、との話が合った際には、運営面でお役に立って来ていない私のような者の就任には、躊躇がありました。親しい同期の友人に相談すると、この歳になっても頼まれることがあるのは幸せなこと、引き受けたらと背中を押され、生まれつきの楽観主義者であることもあり、身が引き締まる思いを持ちつつ、港区立青山中学校の生徒会長以来、人生で二度目の「会長」を務めることとした次第です。

1969年(昭和44年)4月、九段高校に入学、サッカー部中心の青春まっただ中の3

年間でした。69年と言えば、東大安田講堂事件を始め学園紛争が盛んでした。九段高校でも、10月に一時職員室がバリケード占拠されました。



朝練の日で、学校に行くと騒がしかったのでよく覚えています。その後制服自由化が行われましたが、私服も面倒で、結局私は同期の多くがそうであったように標準服のブレザーを着用していました。

大学を卒業して外務省に入り、40年強勤務、その内半分を海外で過ごしたこともあり、菊友会との関わりは希薄でしたが、これまでの菊友会会報を見ると、現役生徒やP.A.との交流等を含め、同窓会組織以上の活動をしていることに感銘を受けました。

年をとると若い頃の懐かしい思い出が美化された形でよみがえることが多くなります。尽性園でのクロスカントリー、至大荘

猪俣新会長プロフィール

九段高在学時はサッカー部所属。

1978年早大法学部卒業、外務省入省。

主としてアジア局、北米局、国際法局を担当。

小泉内閣官房に出向、外政総括参事官。

在外勤務:英国(2回)、タイ、米国(2回)、韓国、パキスタン、オランダ(大使)など。

2019年9月外務省退官、11月から外務省参与(査察使)、現在に至る。

での飛び込み・遠泳、秋の九段祭、冬の柔剣道の寒稽古、室内プールでの水泳大会、校内食堂で食べたカレー、おそば等々思い出す色々な記憶が次から次へと蘇ってきます。

菊友会は、OB・OGの親睦を深める同窓会組織であると同時に、現役生徒や若い会員に役に立つ組織であるべし、とこれまでも各種活動が行われてきています。私も引き受けした以上、副会長、理事長はじめ理事の方々と一緒になって、菊友会活動の更なる充実、会の発展のため尽力する所存ですので、各会員皆様の引き続きのご支援とご協力を切にお願いいたします。

持続可能な菊友会を目指します

理事長 篠原慎一



母校が創立100周年を迎えた記念の年に菊友会の理事長に就任いたしました。菊友会の使命は、「会員相互の親睦」と「母校への貢献」を両軸に、

建学の精神である「人をつくる」に資することだと思えます。そして菊友会の更なる発展のためには、会員や母校の皆様からよりいっそう必要とされる存在になることが必須と認識し、「持続可能な菊友会を目指す」ことをビジョンとして掲げてまいります。

コロナ前の状況によりやく戻りつつありますが、変化した社会の在り方は残ります。そんな中で、よき伝統の継承と新しい伝統を共存発展させ、より多くの会員の皆様が、集い語り楽しめる機会を菊友会の

名で提供していくこと、さらに母校の発展のために貢献を果たしていくことが肝要だと思っています。

ご存知のように6年制となった母校の1学年の生徒数は、かつての都立時代の約半数の160名弱となりました。つまり年々の会費納入の母数が半減したことになり、菊友会活動の財政基盤強化も大きな課題です。

菊友会大会、至大荘懇親会、ゴルフ大会、尽性園桜まつりや東京校歌祭への参加などの各種行事を前例踏襲型からの脱却を図り、新しい魅力の創造付加型へと進化させ、より多くの会員が気軽に楽しく参加できるよう工夫してまいります。また、各期の同期会の開催などは積極的に実施していただき、開催のお手伝いや、広報誌への掲載などを通じて、今後も会員の皆様に親しまれる菊友会として認知いただけるよう努力してまいります。そんな活動の結果、必要とされ愛される菊友会となつてはじめて維持会費納入にご協力いただける方々を増

やしていけると確信しています。

今年度理事会は新たな100年に向け、菊友会自らの理想的な姿を求める「サステナブル推進分科会」を立ち上げました。国際派の猪俣新会長と理事会メンバー全員が協力し、より必要とされる菊友会へと努力してまいります。あわせて母校・P.A.・法人九段との連携を緊密にし、母校の更なる発展に貢献していけるよう尽力していきたいと思っています。

会員の皆様の一層のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

特別寄稿「至大荘行事に思う」

2023年、至大荘行事が4年ぶりに実施されました。九段中等教育学校も来年は創立20周年を迎え、伝統行事にも変化が生じています。原田顧問(前会長)から特別寄稿をいただきました、ぜひお読みください。4ページに掲載しました。

2024年度 菊友会評議員会 ―今年も無事、対面で開催される―

評議員会は5月18日（土）、新緑が美しく、少し汗ばむような陽気の中、九段中等教育学校で開催されました。前日は体育祭だったので、後片付けに勤しむ生徒の姿に元気をもらい、開催の準備を進めました。開会にあたり、原田会長から長年続いて来た至大荘懇親会に於ける伝統の大切さについてお話がありました。引き続き伊藤理事長を議長に選出し、出席評議員16名、委任状48名計64名、評議員総数115名の1/5以上であり、本評議員会は成立したとの報告があり、議事開始となりました。

第1号議案 2023年度事業報告および決算承認の件

2023年度事業報告書、決算報告書および監査報告書に基づき、事業内容、決算について担当理事から説明があり、長峰監事により監査結果が報告され、原案通り承認されました。特に新しい行事として企画された3月24日（日）の尽性園桜まつりには173名が来場し、会員相互の親睦が図られる好企画となったとの報告がありました。

第2号議案 2024年度事業計画および予算承認の件

本年度事業計画(案)および予算(案)について、担当理事から説明があり、原案通り承認されました。今年度、東京校歌祭は馴染みのある杉並公会堂での開催ですが、一緒に参加くださる現役部活生の保護者にも



2023年度決算および 2024年度予算

		2022年度 実績	2023年度実績			2024年度 予算
			予算 A	実績 B	予実差 A-B	
収入	維持会費	5,987,000	6,000,000	5,939,000	61,000	6,000,000
	新会員入会金	370,000	350,000	345,000	5,000	350,000
	菊友会大会会費	414,000	840,000	777,000	63,000	720,000
	至大荘懇親会会費	0	1,170,000	779,650	390,350	980,000
	評議員会後懇親会会費	0	80,000	64,000	16,000	80,000
	菊友ゴルフ大会会費	52,111	177,000	210,000	△ 33,000	220,000
	尽性園桜まつり会費	0	532,000	348,000	184,000	660,000
	寄付金	128,000	0	136,340	△ 136,340	0
	雑収入	6,360	0	10,195	△ 10,195	0
受取利息		341	0	359	△ 359	0
収入計		6,957,812	9,149,000	8,609,544	539,456	9,010,000
事業費	在校生・卒業生支援費	118,463	300,000	270,260	29,740	320,000
	菊友会大会経費	740,826	895,000	782,982	112,018	930,000
	至大荘懇親会経費	16,380	1,220,000	889,151	330,849	1,050,000
	評議員会経費	17,934	165,000	134,700	30,300	160,000
	菊友ゴルフ大会経費	32,512	207,000	208,580	△ 1,580	250,000
	尽性園桜まつり経費	92,945	676,000	490,635	185,365	730,000
	会報印刷・発送費	2,852,959	3,000,000	2,888,745	111,255	3,000,000
	ホームページ運営費	60,198	80,000	61,446	18,554	80,000
	菊友会紹介紙作成費	0	0	0	0	20,000
	東京校歌祭参加費	0	155,000	172,392	△ 17,392	160,000
	中等15回生(16回生)記念品	352,800	360,000	360,000	0	360,000
	事業費小計	4,285,017	7,058,000	6,258,891	799,109	7,060,000
	事務局人件費	1,612,060	1,620,000	1,700,880	△ 80,880	1,750,000
管理費	光熱費	50,891	70,000	43,431	26,569	90,000
	通信費	51,408	100,000	43,450	56,550	70,000
	リース費	8,844	9,000	8,844	156	9,000
	パソコン関係費	97,726	110,000	121,606	△ 11,606	130,000
	コピー費	195,452	140,000	105,969	34,031	110,000
	事務消耗品費	16,315	35,000	22,588	12,412	35,000
	理事会交通費	189,000	260,000	231,000	29,000	270,000
	旅費交通費	0	30,000	30,000	0	30,000
	振込手数料	293,974	350,000	273,573	76,427	350,000
	慶弔費	0	50,000	38,755	11,245	50,000
	雑費	24,061	40,000	41,076	△ 1,076	40,000
	管理費小計	2,539,731	2,814,000	2,661,172	152,828	2,934,000
	支出計	6,824,748	9,872,000	8,920,063	951,937	9,994,000
当期収支差額		133,064	△ 723,000	△ 310,519	△ 412,481	△ 984,000
前期繰越収支差額		9,329,066	9,462,130	9,462,130	0	9,151,611
次期繰越収支差額		9,462,130	8,739,130	9,151,611	△ 412,481	8,167,611

ご寄付をいただき、ありがとうございました。(敬称略)

【グループ】高22回同期会110,340円／【個人】大石信二(高7)／堀部聖史(高16)／松本堯(高17)／吉田宗廣(高20)／渡辺知明(高32)／相原學(高39)

2024年度 菊友会役員構成

会長	猪俣 弘司	高24
副会長	伊藤 ユリア	高24
"	鈴木 康雄	高24
"	百束 英二	高25
顧問	赤司 久雄	高15
"	野本 俊輔	高17
"	原田 忠禮	高21
監事	山科 裕紀	高22
"	長峰 伸之	高26

<理事会・委員会>

理事長	篠原 慎一	高27
副理事長	百束 英二(副会長兼)	高25
"	伊井 希志子	高27
"	福井 正輝	高32

総務企画委員会

委員長	吉田 史明	高27
理事	井上 高行(兼)	高25
"	長谷川 友昭(兼)	高25
"	百束 英二(兼)	高25
"	伊井 希志子(兼)	高27
"	飯塚 豊明(兼)	高27
"	伊藤 直司(兼)	高27
"	佐藤 敬子	高27
"	中井 健一(兼)	高27
"	長島 三枝(兼)	高27
"	永島 幸代(兼)	高29
"	平野 清一	高30
"	河原 一弥	高32
"	高田 明夫	高32
"	福井 正輝(兼)	高32
"	藤井 和典(兼)	高32
"	佐々木 幸一(兼)	高38

広報委員会

委員長	井上 高行	高25
理事	長谷川 友昭	高25
"	百束 英二	高25
"	伊井 希志子	高27
"	飯塚 豊明	高27
"	伊藤 直司	高27
"	福井 正輝(兼)	高32
"	佐々木 幸一	高38

会計委員会

委員長	瀬戸川 隆	高25
理事	長島 三枝	高27

情報委員会

委員長	福井 正輝	高32
理事	井上 高行(兼)	高25
"	伊藤 直司(兼)	高27
"	中井 健一	高27
"	永島 幸代	高29
"	藤井 和典	高32

評議員会・懇親会

ご案内を出し参加を呼びかける予定です。

第3号議案 役員人事の件

新役員構成が左表のように理事長から提案され、承認されました。会長に猪俣氏、副会長に伊藤氏・鈴木氏・百束氏、顧問に赤司氏・野本氏・原田氏、理事長に篠原氏が選任されました。

また、新たな理事として、長島氏・佐藤氏・永島氏が選任されました。

評議員会出席評議員(敬称略)

高野光正(高4)、尾羽澤正敏(高9)、山田興一(高14)、楢取能彦(高17)、加藤千恵子(高18)、青木麗子(高19)、松本茂夫(高19)、渡邊周一(高21)、阿部芳廣(高23)、熱田陽子(高24)、赤木恵利子(高25)、江口智子(高30)、沼田雅美(高30)、福田隆(高31)、新評議員:小林花佳(中等15)、吉岡祐希(中等15)

評議員会は予定通り終了し、その後飯田橋セントラルプラザビル20階「北海道」にて懇親会を開催しました。出席評議員8名、役員・理事24名、事務局1名、新会員の中等15回新評議員2名、計35名が参加。篠原新理事長の開会挨拶、猪俣新会長の乾杯で始まり、参加された評議員・役員が紹介され、事務局の方へ感謝の拍手を送り、和気あいあいとした雰囲気の良い時間となりました。赤司顧問から「菊友会では62歳の年齢差を超えて交流ができることに幸せを感じる」、猪俣新会長からは「次の時代につながる菊友会をつくっていく」とのお言葉がありました。篠原新理事長と一緒に、席をご挨拶に回ってく

ださった新評議員の小林さんとはご両親が、吉岡さんとはご兄弟が二人、九段の卒業生とお聴きし、世代につながる九段の絆を感じた和やかな交流のひとつでした。中井理事の先導で校歌を声高らかに唄い、百束副会長の一丁締めの響きは、変化の時代を力強く乗り越える菊友会へと向かう決意の音でした。(伊井希志子・高27)



令和6年

合格おめでとうございます。

下表は既卒者を含めた大学合格状況です。6年間の九段での学びと経験をいかし、それぞれの大きな夢に向かって歩まれることを願っています。

国公立大学・大学校	人数
お茶の水女子大学	1
金沢大学	1
高知工科大学	1
埼玉大学	1
埼玉県立大学	1
静岡大学	1
信州大学	1
千葉大学	5
筑波大学	7
都留文科大学	1
東京大学	1
東京外国語大学	2
東京藝術大学	1
東京工業大学	3
東京都立大学	5
東京農工大学	3
東北大学	1
富山大学	1
長崎大学	1
一橋大学	1
北海道大学	1
和歌山大学	1
横浜国立大学	3
防衛大学校	1
国公立大学・大学校計	45

専修学校	人数
服部栄養専門学校	1
東放学園専門学校	1
日本電子専門学校	1
専修学校計	3

・九段中等HPに過去8年分の合格状況が掲載されています。

私立大学	人数
青山学院大学	34
亜細亜大学	1
桜美林大学	3
大妻女子大学	3
学習院女子大学	2
学習院大学	9
神奈川大学	1
神奈川工科大学	1
神奈川歯科大学	2
神田外語大学	4
北里大学	4
京都美術工芸大学	1
共立女子大学	1
杏林大学	2
近畿大学	2
慶應義塾大学	9
工学院大学	12
國學院大学	5
国際医療福祉大学	1
国際基督教大学	1
国士舘大学	1
駒沢女子大学	2
駒澤大学	3
埼玉医科大学	1
札幌大谷大学	1
産業能率大学	1
実践女子大学	2
芝浦工業大学	16
順天堂大学	9
上智大学	18
湘南工科大学	1
昭和女子大学	5
昭和大学	2
成蹊大学	12
成城大学	9
清泉女子大学	1
専修大学	24

私立大学	人数
大東文化大学	4
玉川大学	2
多摩美術大学	2
中央大学	22
津田塾大学	1
帝京大学	3
帝京平成大学	1
東海大学	5
東京医科大学	1
東京音楽大学	1
東京家政大学	1
東京工科大学	1
東京工芸大学	1
東京慈恵会医科大学	1
東京女子大学	3
東京電機大学	3
東京都市大学	3
東京農業大学	3
東京理科大学	21
同志社大学	7
東邦大学	1
東洋大学	25
獨協大学	3
日本大学	20
日本歯科大学	3
日本女子大学	2
日本赤十字看護大学	1
文教大学	3
法政大学	20
武蔵大学	3
武蔵野大学	9
武蔵野美術大学	1
明治大学	43
明治学院大学	14
明星大学	3
酪農学園大学	1
立教大学	29

私立大学	人数
立正大学	2
立命館大学	1
立命館アジア太平洋大学	1
早稲田大学	31
私立大学計	508

海外大学	人数
Maryland Institute College of Art	1
Pratt Institute	1
School of the Art Institute of Chicago	1
School of Visual Arts	1
国立中山大学	1
香港中文大学	1
海外大学計	6

2024年度菊友会行事カレンダー

- * 8月24日(土)～8月25日(日)
至大莊懇親会
(8/24 プレゴルフ大会)
- * 10月13日(日)
菊友会大会: ホテルグランドヒル市ヶ谷
特別講演 吉良俊彦氏(高27)
- * 10月27日(日)
第32回東京校歌祭 於: 杉並公会堂
- * 11月13日(水)
秋の菊友ゴルフ大会
於: 佐倉カントリー倶楽部
- * 11月24日(日)
関西菊友会総会
於: 大阪キャッスルホテル
- * 2025年3月30日(日)
尽性園桜まつり

《特別寄稿》 至大荘行事に思う

原田 忠禮（菊友会顧問、前会長・高21）

関係者への感謝

昨年は、コロナ前に戻りつつある状況下で至大荘行事も4年ぶりに2泊3日で実施されました。この成果には、教員の皆様や応援で駆け付けた元教員の方々の努力だけでなく、生徒との絆を繋ぐ助手の方々の貢献も大きかったと思います。伝統行事の中でも特に象徴的な至大荘行事の継承にご尽力いただいた皆様に敬意を表します。

至大荘行事の歴史

戦後は、4年間の中止を乗り越え、昭和22年に7泊8日で復活し、その後土日の守谷の浜の混雑もあり4泊5日に短縮されたものの、平成23年東日本大震災での中止を除き、コロナ前までこの行事は脈々と受け継がれてきました。

母校が生徒に配布する【至大荘手帳】冒頭には、「至大荘行事をやり終えて初めて真の九段生となれる」との言葉が記されています。90年以上にわたり至大荘行事は確実に継承されてきました。その一翼は卒業生助手の情熱と絆に支えられてきました。

伝統継承が区への移譲の重要条件

平成14年2月26日朝日新聞夕刊1面に“東京都が九段高校を千代田区に移譲”との記事が掲載され、第17代鈴木会長以下菊友会関係者が奔走したことは皆様ご記憶のと

おりです。当時の経緯は菊友会報に記されています。第71号には議論の結果としての『千代田区立中等教育学校に関する検討委員会報告』があり、千代田区への移譲条件が列記されています。中でも『九段高校の伝統・校風の継承・発展』の項目の筆頭に①至大荘行事など伝統的學校行事について②「校歌」「校旗」「校章」についてと記載され、当時の区教育委員会関係者は、至大荘行事を見学した上で絶賛しその継承を約束しました。その中核をなすのは、大遠泳とともに規律・挑戦の精神、生徒の安全を第一とする游泳部の教員と助手の姿であることは会員諸兄姉の胸の中にある通りだと思います。（会報バックナンバー69号、71号、77号を菊友会HPでご覧ください）

時代・社会の要請と伝統の継承

大正・昭和・平成・令和と継承されてきた至大荘行事はまもなく100年を迎えます。時代とともに社会の要求に沿い少しずつ変化してきました。今後も、主役である生徒自身の個性を尊重しながら、ダイバーシティやコンプライアンス、教員の働き方改革などの社会の要請に対応していく必要があります。

また施設面では、例えば九段高校時代は約300人強を2期に分けて、中等教育学校になってからは160名弱が1期で実施して

きました。しかしコロナの影響もあり、当面の宿泊スペース確保には2期に分けざるを得ないようです。コロナ前の行事状態に戻すには4泊5日2期での実施が理想的ですが、関係者の負担を考えると容易ではありません。

行事継承の重要性

至大荘行事がさらに100年の歴史を刻み続けるためには、名称だけでなくその核となる内容の継承が重要です。移譲時の関係者である東京都・千代田区・法人九段・菊友会そして母校は、約束を守り継承に責任を持つ必要があります。

同時に、コロナ後の社会ルールや習慣が変化した今、学校行事としての制約の中でP.A.の理解をいただきながら、時代に沿ったそして未来につながる至大荘行事の在り方について、母校・法人九段・菊友会が一体となって検討を続けることが大切です。

変わらぬご支援を

今年度菊友会理事会は新たな100年に向け、至大荘行事を含む母校の支援体制として菊友会自らの理想的な姿を求めていく「サステナブル推進分科会」を発足させました。

菊友会員の一人としてまた至大荘での貴重な経験を知る一人として、会員の皆様の変わらぬご支援をお願いしたいと思います。

❀ 初開催「尽性園桜まつり」は大盛況！

例えば1年前、菊友会初の試みとして企画した尽性園桜まつりでしたが春の嵐により中止となってしまい、「今年こそは！」と意気込んで、1年越しの今年3月24日(日)開催に至りました。

しかし！ご存じの通り今年の桜は開花が遅れに遅れ、花見ならぬ「つばみ見」での開催となりました。それにもかかわらず総勢173名(未就学児を除く)もの卒業生やご家族にご来場いただくことができました。

会場は熱気にあふれ、プラスバンド部OBによる演奏や景品争奪ビンゴ大会、ストラックアウト、輪投げコーナーなど楽しいアトラクションが催され、体育館では卓球エリア、ネットを張った本格的なバドミントン競技、フリースローのバスケットと、子どもも大人も大いに盛り上がっていました。屋外にはチビッコクライミングウォールも設置され、焼きそばや唐揚げ、ビール販売など、まるで縁日に来たかのような1日限りの楽しい尽性園となりました。

また2階の個室が開放され(要予約)、大人数のクラブや同級生仲間で宴会が始まっ

たり、1階ホールでもテーブルを囲み懐かしい仲間たちと九段談義で盛り上がったりと、みなさん思い思いの時間を過ごされ、アツと言う間の4時間でした。

ほかにも至大荘行事を担う若手助手の卒業生たちが新卒生勧誘のための募金活動に来場し、大先輩方から沢山の寄付をいただいていた。（右ページにお礼あり）

1日限りのイベントで桜の開花を事前予想するのはとても難しいですね。しかし肅々と準備を進め、桜満開の尽性園の絶景

春の菊友ゴルフ大会 晴天の下で開催！

4月17日(水)初夏を思わせる陽気の中、第77回大会が石坂ゴルフ倶楽部で開催されました。参加者は高3回卒、中川繁さんはじめ7組27名で、日頃磨いた腕を競いました。優勝は赤司久雄(高15)さん。ベスグロ(79打)、ニアピン2つと賞を総取り。完璧！感服！

(幹事 百束英二・高25)



をみなさまにご覧いただけるよう理事会・実行委員会一同「来年こそは！」とさらに意気込み、ご来場を待ち申し上げております。お楽しみに！

(佐々木幸一・高38)



菊友会のイベントにぜひご参加ください！

至大莊懇親会

昨年、4年ぶりに至大莊懇親会を開催し、総勢61名の皆さまが参加されました。今年も夕日沈む守谷の浜辺、夕食は賑やかに宴席でビンゴゲームに興じ、夜は花火で盛り上がりましょう。翌朝はさわやかな潮風とともに目覚め、ラジオ体操で体をほぐし、朝食後には勝浦の朝市でショッピング、昼は和やかにBBQパーティでお腹と心を満たします。お子様向けのスイカ割り大会も用意しています。この機会に、クラス会、クラブ等のお仲間をお誘い合わせのうえ、思い出の至大莊をぜひお楽しみください。もちろんご家族での参加も大歓迎。九段中等教育学校卒業の皆さんもぜひご参加ください。心からお待ちしています。

- ◆期日：8月24日(土)～8月25日(日)
- ◆場所：至大莊(千葉県勝浦市守谷40)
- ◆受付：8月24日(土) 13:00(入荘可)
- ◆参加費：大人13,500円(1泊3食)、同伴の小中高生6,500円(幼児無料)
- ◆募集人数：70名(先着順)
- ◆申込：電話・メール等で菊友会事務局迄。(HPに申込書掲載)8月2日(金)締切。
- 8/24 プレゴルフ大会 勝浦東急GC(Out/In 7:52スタート) 参加希望の方は、懇親会申込時にその旨お申し出ください。別途参加費用が必要です。交通手段については事務局にお問い合わせください。

沢山のご支援ありがとうございました！ ー至大莊助手会募金活動ご報告ー

尽性園桜まつりで募金活動を行わせていただきました。3月に卒業した中等15回生に向けて、我々助手は4月末に「至大莊お泊まり会」を企画しており、そこに参加する新卒業生の交通費や食費として皆様へ支援をお願いしました。多くの先輩方のご厚意により173,000円のご寄付を頂戴しました。当日は暖かいご支援とご声援、本当にありがとうございました。お陰様でお泊まり会には新卒業生37名が参加し、至大莊行事の説明や助手への新規勧誘、施設案内、守谷の浜清掃などを行い、交流することができました。助手一同、至大莊の継続に向けて力を尽くしてまいりますので、これからも応援をよろしく願いいたします。

長谷川貴史(至大莊助手菊友会 会長・高60)



菊友会大会 10月13日(日)開催

会場は前回好評の市ヶ谷！ 講演は吉良俊彦氏(高27)を予定しています。

演題は「世界初・日本発の『マンガデザイン』で笑顔をプロデュース」。日本のオリジナルコンテンツの「マンガ」と「グラフィックデザイン」を組み合わせた汎用性のある新たなメイドインジャパンのクリエイティブをご紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。特に卒業して間がない皆さんには特別割引もありますので、お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

- ◆会場：ホテルグランドヒル市ヶ谷(新宿区市ヶ谷本村町4-1)
- ◆開会：14:00(受付開始13:30)
- ◆会費：8,000円(中等12～15回2,500円)
- ◆申込締切：9月23日(月)
- ◆特別講演：吉良俊彦氏(高27)
マンガデザイナーズラボ代表 兼 マンガデザイン® プロデューサー。
1980年上智大学卒業、(株)電通入社。2004年ターゲットメディア・ソリューション設立。2011年マンガデザイナーズラボ設立。

★福引き景品提供のお願い
会を盛り上げるため景品の提供をお願いしています。提供者は事務局へご連絡を！



桜まつり2025は3月30日(日)開催！

来年こそは三度目の正直で、尽性園に咲く満開の桜をご家族やお友達と一緒に楽しみいただきたいと思います。参加費は大人2,000円、子供1,000円(予定)で軽食と飲料(ソフト、アルコールを選択)がついていますが、持ち込みも大歓迎です。晴天ならばピクニック気分で屋外の桜や飲食をお楽しみください。雨天でも体育館で卓球やバドミントンができますし、お子様向けのクライミングウォールもあります。ミニ同期会、クラス会、部活OB会などの機会としてもご利用ください。詳細は菊友会ホームページに掲載します。

(尽性園桜まつり実行委員会)



昨年の菊友会大会

関西菊友会総会

11月24日(日) 13時から恒例の大阪キャッスルホテルで開催します。参加ご希望者は下記までご連絡ください。(いつも参加されている方へは個別にご案内します)

幹事 湯浅良夫(高14)

お問い合わせは菊友会事務局まで。

第32回東京校歌祭

10月27日(日)に杉並公会堂(JR荻窪駅北口より徒歩7分)で第32回東京校歌祭が開催されます。我々九段は、第一東京市立中学校、東京都立九段高等学校および千代田区立九段中等教育学校のコラボ参加です。

吹奏楽部と合唱部の現役生が往年のOB・OGと共に壇上に立つ姿は、フレンドリーで他校からも評判です。

今年は、ぜひとも保護者・卒業生など九段関係者の皆様も会場に足をお運びいただき、盛り上げていただければ幸いです。

我々理事はもちろん、毎年この会を楽しみに参加している卒業生や関係者の方もいらっしゃいます。記憶にある方は、校歌、至大莊歌など一緒に声高らかに歌いませんか。ぜひお待ちしております。

なお、我々九段の出番は一番最後の予定ですので15:00に会場に来ていただければよろしいかと思います。詳細については第32回の東京校歌祭ホームページをご覧ください。<https://tokyo-koukasai.net/>



昨年の東京校歌祭 九段のステージ

秋の菊友ゴルフ大会

11月13日(水) 佐倉カントリー倶楽部で開催します。お仲間お誘いあわせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。参加ご希望の方は菊友会事務局までお知らせください。(事務局連絡先は8ページ参照)

投稿ページ

同窓会やクラス会のお便りがとどきました。
ご投稿ありがとうございます。一部短縮編集させていただきました。

尽性園の思い出

会報で桜まつりを知り、3月24日(日) 30年ぶりに尽性園を訪れました。

【思い出1】 昭和59(1984)年稲城市の要望(校舎建設のため)により、関係者のご努力により6月着工、60年1月に竣工。

●設計 第一工房:所長 高橋航一(中14 著名な建築家・大阪芸術大学教授兼務)、現場担当 森戸勝美(高14)一級建築士

●施工 鹿島建設:担当 小野和衛専務(中9)、所長 私(高4)一級建築士(所長がOBというのが受注の条件)

施工は普通でしたが、外壁はコンクリートそのままの仕上げでしたので苦労しました。そこでコンクリートの劣化防止のため、無色透明の防水剤塗布仕上げという設計でしたが、この防水材は3年で劣化するので、私は竣工3年後(1988年)から毎年学校の関係者に防水剤塗布のお願いに伺いました。1994年の退職まで実施されませんでしたので気にしていました。リニューアルしたとのことですが、次はそろそろお考えになられては?

以降は尽性園とは関係ありませんが、この場をお借りして九段時代の思い出です。

【思い出2】 軟式野球で高2・3年時に東京大会連続優勝・卒業時六大学軟式野球部から部にスカウトが来ました。一人だけ明大に入学。即レギュラー、のちに監督に。

【思い出3】 迎賓館赤坂離宮が当時は国会図書館でしたので、そこで勉強(?)。

【思い出4】 昭和43(1968)年4~9月主任として参画、その関係で現在ボランティア・ガイドをしています。みなさんぜひ迎賓館を見に来てください。

【思い出5】 高4回、波乱万丈の6年間の至高会。会報112号を見てください。

(渡辺健太郎・高4)



高11 同期会報告

2020年の春に幹事会を開き、同年中に開催を決め会場予約まで行ったが、コロナ禍が激しくなり、予定した会場からも会場閉鎖の連絡を受け、同年中の開催は諦めていた。

2023年開催を決定、11回に因み11月11日に開催をする。

83歳中心の年齢ではあったが、比較的多くの会員に集まっていたが、田町駅に近い会場に、73名が集い盛大に同期会を開催することができた。

スクリーンに映し出される古い高校の写真や至大荘の飛び込み、遠泳の写真などを見ながら大いに盛り上がった会であった。

残念ではあったが、年齢を考えると次の開催は難しいと幹事会で決定し、今回を最後とし、校歌、至大荘歌の後に「今日の日は

さようなら」をみんなで歌い終わりとした。

なお、7組の山口洋氏の作成、管理している以下を見ると、たくさんの情報、写真が見られる。

「おもひでの仲間のページ」

<http://tmu-11e.cocolog-nifty.com/kudan/>
追記:同期会の剰余金は少額ではあったが、能登半島の震災災害義援金として寄付をした。

(幹事代表 奥山 譲)



同期会開催にかかわった幹事の面々

高14 傘寿を祝う会

高14回生(1962年卒業)の傘寿を祝う菊友会同期会は、五月晴れの5月17日、ロイヤルガーデンカフェ飯田橋で開催。

80歳になっても元気者は必ず集まろうの誓い通り、76名(男62, 女14)の参加となる。我々の誇りは世話人達にあり。半年前から準備を整え、この日も1時間半前から集合と、実にありがたいものである。

高井禄郎・平林廣子両司会の開会宣言、黙祷、校歌斉唱、岡川栄司代表の開会の辞と進み、ご多忙の中、篠原慎一菊友会理事長の挨拶で、母校と菊友会に変遷しつつもしっかりと伝統が維持されていることを知

る。ご祝儀と共に深く感謝して、年会費を忘れず収めることを心に誓う。志岐紀夫の音頭で乾杯となる。

早速賑やかに会話が始まる。話題は参加者共通の思い出である至大荘や尽性園の青春時代と現在の健康状態に及び、話は尽きない。たちまち時間は経過して、恒例の至大荘歌で締め、

高7 同期会



7回生は本年88歳を迎えます。4月20日(土)「米寿の会」を開催いたしました。

昭和30年卒業以来70年に亘る交友が続いている7回生が34名参加、共に米寿をお祝いする事が出来て幸せでした。皆様の若々しいお元気なお姿と各自の「ひとこと」の魅力ある発言に感動しました。加えてお互いにパワーを交換して今後の糧にする事が出来て嬉しく思いました。

また全員がまもなくの卒寿を超えて長寿を遂げられること、確信出来ました。

残りの人生を豊かに楽しく過ごし、またの再会を約束して感謝、感謝で無事、お開きとなりました。(世話役 宮島 徹)

《マスコミ菊友会からのお知らせ》

毎年開いていたマスコミ菊友会ですがコロナ禍の影響などもあり2019年以降、開催できておりませんでした。

昨年11月に4年ぶりのリスタートとして急遽『小さなマスコミ菊友会』を呼びかけたところなんと60名近くの参加者が集まりました。

この記事の締切が5月なので、内容は書けないのですが今年のマスコミ菊友会(6月14日開催)も盛り上がったはずですよ(笑)。

来年は6月13日開催予定です。(毎年6月第2金曜日の開催になりました)

いわゆるマスコミだけでなく企業広報の方や各種メディア、デザイン、撮影などマスコミマインドをお持ちの方なら、どなたでもご参加いただけます。

中等卒業生の方も大歓迎です!

参加ご希望の方は菊友会事務局までメールでお知らせください。

(幹事 高橋洋平・高42)

増喜忠義(6組)の閉会の辞と手締めで傘寿の同期会を終える。

この日は恥じらいなく波堂々と九段高校青春時代が蘇った傘寿の第一健男女である。(幹事 岡川栄司)



高九段高校14回生傘寿を祝う会

高23 3年8組クラス会

去る4月5日、九段高校昭和46年卒業3年8組のクラス会を、恵比寿駅近くのキッチン付きのレンタルスペースで行いました。参加者は、ハワイから帰国していた松田さん他、15名のメンバーでしたが、近景を送ってくれたインドネシア在住の黒沼さんや、近況報告を送ってくれた塩谷さん、松代さん、堀口さんの情報や、高校1年、3年の集合写真、その後のクラス会等の写真などを投影して見たりして、多くの方との旧交を温めることができました。調理には松田さんや勝部さんが、跡片付けには吉原さんが活躍してくれました。

(町田俊明)



一游会95周年記念

OB戦、パーティのご案内

一游会の皆様、10月19日(土)に95周年を記念したOB戦、パーティを2019年の90周年から5年ぶりに開催します。(パーティは現役不参加です。)

OB戦は、現役・卒業生の交流を意識したレースリレーを企画する予定です。

詳細は別途ご連絡しますので、スケジュールしてください。よろしくお願いいたします。

OB戦 10/19(土) 14時～17時

場所：九段中等教育学校 温水プール

記念パーティ 10/19(土) 18時～20時

場所：ロイヤルガーデンカフェ飯田橋

(飯田橋グラン・ブルーム サクラテラス 2F)

7月末頃詳細連絡予定 (高田明夫・高32)

高45 同期会開催のお知らせ

私達の記念すべき生誕50周年を九段の仲間やお世話になった先生方と共に祝いしたいと思い、同期会の開催を企画・準備しています。たくさんの同期生の出席をお待ちしています。

●2024年11月 開催予定

●高校45回卒業生(1993年3月卒業 昭和49年4月～昭和50年3月生まれ)

●発起人 吉崎 新之助

倉本 真理子

●詳細はこちらよりご確認ください。

<https://x.gd/0U33Y>

川崎ハルコさん「歌会始」に入選

新年恒例の宮中行事「歌会始」が1月19日、皇居「松の間」で行われました。一般公募15千首の中から選ばれた10首の詠進歌に川崎ハルコさん(高13)の歌が入りました。

かの日々に移り来し人等耕しし

大和(ヤマト)と呼ぶ里アマンドの花

日本からの移民が120年前から開拓した中部カリフォルニアの空を覆う数万本のアーモンドの花を詠んだものです。川崎さんはロサンゼルス在住、UCLAで移民史研究に携わり現在も活躍中です。

(坂本聖二・高13)

一走会 2023年度総会開催報告および会長交代のお知らせ

2023年11月17日(金)、陸上部OB会の一走会は4年ぶりの総会・懇親会を飯田橋の「北海道ラムラ店」にて開催。高20回から中等14回まで(その差55歳!)の卒業生42名と元・現顧問の先生方5名、計47名の参加を得て大盛会となりました。総会議事では駒形(前)会長が①2019～2022年度(コロナ禍中)の活動について報告、②次期会長に百束英二氏(高25)を推薦したあと審議に入り、



両議題とも満場一致で承認されました。その後、待ちに待った懇親会では最高潮に。最後は来年の参集機会である「尽性園桜まつり」(菊友会主催、一走会有志参加予定)および次回総会(2024年6月28日開催)での再会を約して散会しました。今回ご都合悪く不参加の方々も来年はぜひご参集ください。

(飯塚豊明・高27)

転出・退職された先生方 ～お世話になりました

会員専用ページでの掲出とします。

逝去

会員専用ページでの掲出とします。

加藤先生を偲ぶ

加藤三郎(旧姓中田)先生が今年2月25日91歳で亡くなりました。先生は、サッカーの名門、山梨県立韮崎高等学校から筑波大学に進み教育実習で九段に。湯野先生の目にとり、他校に決まっていたのに、九段に赴任。高9回生入学と同時のため、何時も同期会に参加していただきました。至大莊行事を目前に、泳げない先生は特訓

の毎日だったとのことでした。また、九段サッカー部創設の先生でもあり、元プロサッカー選手の中田英寿さんとはご親戚と伺っていました。ご冥福を祈り合掌。

(尾羽澤正敏・高9)

菊友会理事 米澤京子氏(高25)を悼む

米澤(旧姓竹林)さんは九段で一生の伴侶に出会い、母校への深い愛情をお持ちでした。理事就任後は、プリザーブドフラワー普

及団体代表の才を活かし、菊友会の寄贈生花の飾り付けを担当され、そのお花が毎朝玄関ホールで優しく生徒を迎えてくれました。同理事から寄贈頂いたプリザーブドフラワーは今も校内に飾られています。高25同期会でも幹事として活躍されていました。

素晴らしいご主人とお子様、そしてお孫さんに囲まれた幸せな人生であったとお聞きしています。安らかに。(理事一同)

2024年度 維持会費 (2024年4月～2025年3月)

中～高～中等10 回生までの会員 3,000 円
 中等11～15 回生の会員 (減額期間) 1,000 円

郵便振替

※住所・氏名・電話番号・卒業回・個人コード (会報封筒に印字されている番号) をご記入願います。

※現金払込時の「ゆうちょ加算料金」は廃止され、払込無料です。

銀行振込

三菱UFJ銀行 神保町支店 普通口座：0691551
 みずほ銀行 九段支店 普通口座：1453238
 三井住友銀行 神保町支店 普通口座：2111680
 りそな銀行 九段支店 普通口座：1413234
 ゆうちょ銀行 ○一九店 (ゼロイチキョウ店) 当座：0504525

※口座名義はすべて「キクユウカイ」です。振込人名義は必ず 個人コード + 振込人名 としてください。

※振込手数料をご負担ください。

菊友会を支える維持会費 !! ご協力をお願いします

菊友会の活動は皆様からの維持会費が支えです。ただ、その納入率は低位に推移し、しかも世代間のアンバランスが大きいという問題があります。一方、会員にとっての会費納入は、菊友会参画のメリットとの兼合いという面もあると思われます。

こうした分析を踏まえ、現在改めて菊友会の魅力向上を図るべく様々な課題に取り組んでおります。皆様におかれましても同期やお知り合いの会員に菊友会への積極的な参加を呼び掛けて頂きたくお願い申し上げます。(会計委員長 瀬戸川隆・高25)

ご存じですか？ 同期会の開催を事前にお知らせいただければ菊友会から理事がお祝いとご挨拶に伺います。卒業25周年と50周年は5万円、他の年は1万円をお祝い金として持参致します。菊友会報で開催告知もできます。ぜひ同期会開催の折には事務局までお知らせください！

同期会の開催を教えてください！

菊友会報に記事をお寄せください

同期会の事前告知や開催後の報告・クラブOB/OG会・母校にまつわる楽しいお話など、250字程度 (あれば写真1枚も) を事務局までメールまたは郵送ください。

中等卒業など若い方々の投稿も大歓迎！
次号の締切は11月8日(金)です。

事務局からのお知らせ

今年度より、Yシャツを着用する新入生は各自で胸に貼る校章を用意することになり、購入しにやって来たピカピカの1年生から、フレッシュな空気を届けてもらった事務局です。

◆事務局開室日：毎週火曜日・金曜日 10:30～17:00
 (開室時間を30分延長しました)

◆事務局休室日：8月13日(火)・16日(金)
 (学校休業期間のため)

変更がある場合は、ホームページでお知らせしますのでご確認ください。なお、住所を変更された場合は、事務局へのご連絡を忘れずにお願いいたします。

Tel：03-3263-2448 (時間外は留守番電話に用件をお残しください)

Fax：03-3263-1033 / ㊚ info@kikuyukai.com (24時間受付)

理事会だより

菊友会は母校にて定例理事会を毎月第2金曜日に開催しています。2023年12月度から2024年5月度まで各月の議事要約をここに報告致します。

年間活動や予算計画・主催行事・会報・ホームページ(HP)の更新や運用など毎回活発な議論がなされています。HPも併せてご覧いただき当理事会の活動にご理解を深めていただければ幸いです。

<2023年12月度(12/8)>

【審議事項】なし【報告事項】①新理事長島三枝氏出席、紹介 ②11/29 尽性園で桜植樹式実施、理事10名他関係者が参加 ③2024年度菊友会大会の開催日と会場決定 ④学校行事クロカンへ理事出席を依頼、メダル発注は事務局手配 ⑤学校冬休み日程確認 ⑥2024年度の会計監査日5/7、評議員会5/18 ⑦寄贈図書の入替作業を実施

<2024年1月度(1/12)>

【審議事項】①新理事候補高29回永島幸代氏を承認 ②新卒業生への贈呈図書カードのデザインを承認 ③至大荘行事あり方検討委員に伊井理事選出を承認【報告事項】①米澤理事の計報 ②12/9 海外大学研修旅行 (学校行事) 実施報告会に理事長他出席 ③1/30 クロカンの集合時間と出席理事確認、メダルを学校に渡した ④1/5 千代田区新年交歓会に会長出席 ⑤次期理事長及び副理事長候補の推薦あり、他自他推薦募集中【その他】①2024年度新会長候補に高24回猪俣弘司氏、新副会長候補に高24回伊藤ユリア氏(現理事長)及び高24回鈴木康雄氏(現副理事長)を推挙した

<2024年2月度(2/9)>

【審議事項】①次期理事会の新体制案(理事長・副理事長・各委員長)を承認、各委員会の新体制案は3月に上程予定、実際の稼働は4月1日から ②ZOOM契約の次年度更新を承認【報告事項】①新理事永島幸代氏出席、紹介 ②1/30 尽性園でクロカン実施し理事7名出席、理事長からメダルを授与した

<2024年3月度(3/8)>

【審議事項】①卒業生が監修した漫画本をHPで紹介することを承認 ②尽性園桜まつりの最終計画案を承認 ③委員会新体制案を承認 ④2024年度予算案を承認【報告事項】①3/12 学校から新卒業生のクラス委員、評議員の氏名受領 ②2/27 野村統括校長へ贈呈図書カード、入会金納付依頼文、会員登録依頼文を渡した ③3/2 卒業式に会長、理事長、法人九段理事長出席 ④評議員会の理事集合時間他確認、各係は4月に発表予定

<2024年4月度(4/19)>

【審議事項】①2023年度決算書を承認 ②2024年度事業計画案を承認【報告事項】①新理事長より今年度目標と各委員を発表、次回SP分科会日時場所確認 ②4/8 入学式に会長出席 ③新卒業生の大学合格状況は学校発表待ち ④教職員異動内容確認 ⑤6/26に伝統継承HR実施したい旨学校に申し入れた

<2024年5月度(5/10)>

【審議事項】①2023年度決算書及び2024年度予算案が一部修正され変更内容を説明し承認 (各行事会費の決め方は今後継続検討とする)【報告事項】①2024年度至大荘行事の懸案について理事長より状況報告 ②5/17 体育祭に理事2名出席予定 ③6/11 新旧会長及び新旧理事長が千代田区教育委員会へ表敬訪問予定 ④6/26または7/3 予定の伝統継承HRは理事9名で実施予定【その他】①2024年度新副会長候補に高25回百東英二氏(副理事長は現任のまま)を追加で推挙した

編集後記

今年の正月、会報112号の到着を待ちながら元日の行事を終えて一休みの夕方に、能登半島地震が発生。輪島朝市通り大規模火災の様子をテレビで見ながら、自然の脅威の前に人間の無力さを強く感じました。翌日には、羽田空港日航機炎上。機器への過信か、様々な兆候になぜ気づけなかったのか… という人間の不完全さを思います。今この時に世界各地で現に行われている戦争や紛争には、人の愚かさを痛感します。

一方、創業100年を迎えたタ

カラトミーなどがJAXAと共同開発した変形型月面ロボットSORA-Qが、逆立ちした小型月着陸実証機SLIMの写真を撮影し、人類の大いなる可能性を示してくれました。

人間や人生には不完全・不条理・不公平がつきものですが、負の面を忘れることなく、プラスに向かって前向きに進む姿勢が大切だと思います。新しい組織となった理事会も、皆さんと一緒に菊友会の未来に向けて前進して行く覚悟です。

(井上高行・高25)